



UP-LE

新しい光の中で



今年も明るく元気な新入生が真新しいスーツに身を包み入学してきました。
また、非常勤の先生方も三人迎え盛大な入学式になりました。
新一年生はこれからの二年間、勉学に励み、たくさんの資格を取って自分の夢に向かっていって下さい。

南向きの大きな窓

“成せばなる”

学校長 榎原英勝

今の学生諸君のよ
うな若い人達には馴
染みのないことと思
うが、「成せばなる」
という言葉がある。
今から三十年以上
も昔になるが、東京
オリンピックが開催
された時代。敗戦か
らの復興、経済繁栄の象徴とし
て、世界列強に互して主権国日
本の面目と栄光をかけ勝利をと
誓う合言葉で、特に東洋の魔
女と恐れられた女子バレーボー
ルチームを率いる大松監督がこ
れを使ったと記憶している。

その甲斐あって、女子バレー
は元より体操や柔道、レスリン
グ、陸上競技等々、各種目でメ
ダルを獲得したことは歴史に明
らかなところだ。それに引き換
えどうも近年成績が奮わないの
は、やはりこの合言葉の力に
よるところが大きかったのかも
知れない。

そもそもこの言葉、「成せば
なる成さねばならぬ何事もなら
ぬは人の成さぬなりけり」とい
う詩で、今から二百数十年も遡
る江戸時代は中期、現在の山形
県米沢市、この米沢藩主の上杉
鷹山が、家臣の意識改革のため
に作ったそうだ。

さてこの言葉だが、「やる気
を出してやればどんなことも出
来ないことはない」との極めて
精神的な話。そうは言っても無
理なこと無理、との反論も聞
こえなくもないが、全ては己の
努力次第ということだろう。

この上杉鷹山という人物。知
名度はそれほど高くなく、ある
本におもしろいエピソードが紹
介されていた。彼のアメリカの
ケネディ大統領が、日本人記者
団との会見で尊敬する日本人は
と問われて、「ウエスギヨウザ
ン」と答えたそうだが、それを
聞いた日本人記者団には誰も知
る人がなく互いにささやき合っ
たという話だ。

勿論かく言う私も、六、七年
前のこと、ふと立ち寄った本屋
で何気なく手にした本で知った
のだから余り威張った話ではな
いが、この人物は、危機に逼迫
していた藩経済を、今で言う行
政改革・財政再建を断行して見
事に成し遂げた政治家であっ
た。

さまざまに検定や資格の取得
も、優れた技術や能力を、そし
てまたやり甲斐のある職場を得
ることも、それらは全て自らが
獲得するもの。自分できちんと
する必要があり、そのためには先
ず行動を、そして弛まぬ努力を
することに尽きるのだと思う。

同時にこの言葉、難しい環境
の中ではあるが、新しい時代に
向けた学校づくりを模索する前
向きな姿勢の象徴として、常に
心しておくべきはむしろ私であ
るのかも知れない。

たまたまこの拙文に向かって
いると嬉しいニュースが入って
きた。女子プロゴルファーの岡
本綾子が久しぶりに日本女子オー
プンで優勝したという。そのイ
ンタビューに答えて「しばらく
忘れていた「情熱と挑戦」を思
い起こした。」とコメントがあっ
た。

これも片隅に置いておきたい
言葉である。



私の抱負

高坂 太

四月十日、私はこのコンピュータ専門学校に入学しました。不安と希望に胸を、ふくらませていました。

私がこの学校へ入学した理由は、コンピュータの分野に非常に興味があったからです。これからはコンピュータの時代だと思っています。就職率がとても高いことにも引かれました。日々、変化に満ちた生活を送ることが出来ると思ったからです。この学校は、いろいろな資格が取得できます。それらの資格

を取ってあげれば、後々就職する時に有利になってくると思います。そのためには、一生懸命勉強に励みたいと思っています。卒業する頃には、なるべく沢山の資格を取得できるように努力をしたいです。

ここまでコンピュータが普及してくると、一通りの知識が必要になってくると思います。コンピュータを扱っての仕事、どう展開していくか、どう遂行していくかを自分で考え、行動し成果を出していかなければならないと思います。これからも一層の努力をしたいと思っています。

新入生歓迎会（ボーリング大会）

歓迎会を

振り返って

井上 誠

私達一年生のために歓迎会が行われました。二年生の先輩方には本当に感謝しています。当日になって私達一年は、ほとんど集まらず少々不安でした。しかし、そんな不安も先輩方の気さくな態度で和らぎました。ボーリング大会も始まり、序々に盛り上がってきました。先生方も生徒に交じってボーリングを楽しんでいました。私も十分ボーリングを楽しむことが出来ました。

ボーリング大会も無事終了し楽しい思い出が出来ました。このような一年生と二年生が交流出来る機会は滅多にないと思います。そういう点では、とても素晴らしい企画だと思います。ただ少し残念なことが、いくつかあります。一つは、せっかくのボーリング大会なのに、私達のレーンに先輩が来なかったことです。先輩方と仲良くなる機会だったのに、とても残念でした。もう一つは、一年生がほとんど集まらなかったことです。来年は私達が歓迎会を開くことになる訳ですが、先輩がなるべく沢山集まって欲しいと思います。

新入生歓迎会

について

文化祭体育祭実行委員会

入学式が終わってから、二週間もたないうちに新入生歓迎会を開かせてもらいました。まだ学校に慣れていない新入生達を学校生活、さらには二年生・先生方と交流を深めるをコンセプトにしたこの大会は成功という事で幕を閉じました。

まあ、成功したといっても、先生を入れた総人数が三十人に満たなかったうえに、こちらの不手際が悪かったために、開始時刻が遅れてしまうなど、色々なことがありましたが、それはそれで良しとしておきましょう。ちなみに、一位のハーミットチームは会長もいました。会長が優勝・・・いいんだらうか？

結果

- 一位 ハーミット (2年)
- 二位 木乃伊 (1年)
- 三位 T2 (先生)

各種合格者

第2回ビジネス能力検定

1年生

新井 理香子

2年生

第52回秘書検定

3級

- 井上 誠
- 熊谷 裕
- 桜井 聡
- 代田 慎一
- 菅沼 美
- 高木 恵
- 田中 樹
- 橋爪 亜山
- 原 恵利子
- 古川 裕紀
- 増沢 健二
- 山本 麻紀
- 市瀬 洋平
- 佐々木 克仁
- 宮澤 文崇

2級

第7回情報処理活用能力検定

3級

- 岡沼 利枝
- 亀村 英子
- 柴田 安雄
- 宮澤 文崇
- 新井 理香子
- 熊谷 顕二
- 高坂 裕太
- 桜井 裕二
- 菅沼 慎一
- 田中 一樹
- 田中 優理
- 橋爪 亜山
- 長谷部 直美
- 古川 裕紀
- 本島 佳和

非常勤の先生の紹介



耳を すませば 宮坂千穂

私は、この飯田コンビュータ
専門学校の第一期生として卒業
して再び、この学校に戻ってま
いりました。
十年前の私たちの姿とはあま
り変わらない、学生の皆さんと、
十年の間に随分と変わってしまっ
たマシンと、その間で私はどの
くらい成長出来たのだろうか？
という疑問を常に持っています。
卒業してから、今まで、私の
中でもいろいろな事がありました
た。
その中で、覚えたことは「耳
をすませば」ことの大切さでした。
時折立ち止まって、周囲の声
や、自分の本当の声に耳を澄ま

してあげる事が大切なように思
います。
がんばりすぎは、いつもどこ
かにひずみを残してしまって、
自分の場所を見失ってしまいま
す。決して気持ち豊かさとは比
例しません。

立ち止まった時間は無駄のよ
うにも思えますが、決してそう
では無い気がします。
無駄だと思っていた時間の中
に、今までで一番いろんな物が
詰まっていたように思う事もあ
ります。

私は何の力もない弱いもので
す。でも、焦らないで、周りの
方に教えて頂きながら少しずつ
成長出来る自分でありたいと思
います。
どうか宜しくお願いいたしま
す。



凝り人生 唐沢 秀

人はある年代になると頭痛・
腰痛・肩凝りに悩まされるのだ
が、ありがたいことに私にはま
だ縁が無い。

その代りものすごい凝りがあ
る。先ずオーディオに凝る。自
作の真空管アンプは二十五年以
上たつが、最新のトランジスタ
アンプにする必要はない。自作
のレコードプレーヤーはリムド
ライブで現役。ベルトや糸やダ
イレクトにしないまま、CDの
時代になってしまった。だがC
Dよりもはるかに音が良い。ス
ピーカは放送局で使うモニタス
ピーカを主に十二枚が鳴る。私
の家は何時も音楽が鳴っている。
クラシックとジャズが主休だ。
次は写真に凝る。とうとう暗室
を作ってフィルム現像から引き
伸ばしまでをやる。写真の楽し
さは撮影よりも引き伸ばしにあ

る。多くの人は楽しみを半分捨
てているようなものと言える。

次はアマチュア無線に凝る。

我が家は二十本ものアンテナが
建っている。家族全員が無線家
でファミリーコールも持っている。
とうとう長男は電波のプロ
になってしまった。次は映画・
映像に凝る。一部屋に九台のT
Vがあって、独立した固定チャ
ンネルになっている。まるでテ
レビ局のモニタールームだ。次は
読書。たつた十冊の本を持って

羞恥で飯田に来たのが今では二
万冊。あふれた本はダンボール
で実家の納屋に注いだ。休日は
アウトドア。家にはほとんど居
ない。

あと書ききれない。その代
わりにゴルフ・マージャン・パ
チンコ・車には興味は無い。
どうぞ我が家に遊びにおいで
ください。語り合いますよう。
最後にうたをおくりします。

「知るはたのしみ」
知るは楽しみ 学ぶは苦しみ
拾うに時あり 捨てるに時なし
いずれの日にか 知は身を助く。
学ぶは今ぞ 先は遊べず
一 深くより 十 広く
百 広げれば 千 才となる
いずれの日にか
一 高く身を成せる。



「マルチメディア」 マルチメディアコース 非常勤講師 佐藤 誠

今期より、マルチメディアコー
スの非常勤講師としてお世話に
なっている佐藤と言います。非
常勤講師なので、普段は市内諏
訪町にあります株式会社アンドン
飯田支店という設計会社に勤務
している身です。

マルチメディアという事です
が、現在はDTPとデブ特論を
担当させて頂いており、週三回、
学校へ来させて頂いております。
さて、これからの業種として
期待されているマルチメディア

しかし、静止画や動画、音声
やテキストといった素材をコン
ピュータ上で組み合わせて生み
出される物やその行為をマルチ
メディアと呼ぶ現在、これまで
に無かった業界が形成されつつ
あるのも事実です。

中でも、パソコンの普及に続
けとばかりに、爆発的に広がっ
ているインターネットの普及は
めざましいものがあり、ここ飯
田も例外ではなく、加速的にニ
ーズが増えつつあります。マルチ
メディアという言葉が最も具現
されているのが、やはりホーム
ページではないでしょうか。ま
た同時に、既存のメディアとの
融合により、全く新しいメディ
アへと変貌しているものも数多
く見かけるようになり、アイデ
ア次第で、既存の様々なものが
新しいメディアと変化できるの
もマルチメディアの持つ力だと
思います。
このマルチメディアコースで
学んでいる生徒の皆さんには、
出来る限りこのマルチメディア
の方面へ進んで欲しいと思いま
すし、また、物事をあらゆる角
度から多面的に見ることの出来
る眼を養って欲しいと思
います。



田中さん(地域情報化研究所研究員)・サプライ大賞に輝く

飯田コンピュータ専門学校

「地域情報化研究所」に客員研究員として勤務する田中利樹さんは、昨年(九十六年度)、コンピュータ関連用品の大手販売会社、サンワサプライ(株)(岡山市田町)が実施した第十回サプライ大賞に応募されていたが、このほどその選考結果が発表され、応募アイデア「8方向移動可能テンキー」が、見事第十回記念特別賞に輝き、賞状と共に記念品が届けられ、本人は元より、学校関係者も大変な快挙と大いに喜んでいる。

サンワサプライ大賞は、今回で十回となる歴史ある賞で、サンワサプライ(株)では、ユーザーと直接ふれあい、ユーザーニーズをくみ取る貴重な機会、役割としてこの賞を設け運営しており、今回九十六年度第十回記念大賞には全国から約三百通の応募があったようだ。

その中から選ばれた各賞は次のとおり。

第十回記念大賞 「8方向移動可能テンキー」 田中利樹氏
グランプリ 「フィンガーマウス(超小型マウス)」

山本重徳氏
準グランプリ 「ノートパソコン持ち運び用エアークッション」

吉田富士夫氏
サプライ賞 「サイドカウンタ1付きマルチパソコンラック」

竹原雅巳氏他四点

アイデア賞 「CD袋」

鈴木民雄氏他四点
佳作 「立って使えるノートパソコン用携帯バック」

川北誠一氏他三点

この中で記念すべき大賞受賞となった田中さんのこの作品であるが、小児麻痺の重い障害を有し手の動きに不自由である田中さんは、マウスの操作で非常に不便を感じており、これを少しでも容易に操作できるようにする方法として考えたのが今回のアイデアであるとのこと。

テンキーの一、三、七、九にそれぞれ斜めに進む機能を付加し、更には他のキーとの組み合わせでいち早く移動し又はダブルクリックの機能なども含めた、正に生活に密着した発想、改善提案と言えるものです。

このアイデアに関して、リアリティーが感じられ、作者のような障害を有する人にとって有益なツールであることは勿論、ノートブックパソコンに装着しても便利であろう。こうしたアイデアは本来OSメーカーに考えて貰いたい極めて大切なテーマ。等のコメントが寄せられ、審査員の先生方からも絶賛されたということです。

また、十分商品化の可能性もあり、サンワサプライの入力機器開発部門では早速開発の検討に入りたいと考えているようでもある。

田中利樹さんの紹介

生後まもなく脳性小児麻痺に感染され、手足の運動機能、会話等に重い障害を有しますが、大変な努力家で、昨年春以来、飯田コンピュータ専門学校の「地域情報化研究所」に客員研究員として勤務し、Windows 95の訓練をはじめ、Word、Excel等のアプリケーションソフトやホームページ制作技術についてもほとんど独力で訓練・習得されてきました。

普段は、主として「地域情報化研究所」が管理運営する「飯田インターネット共同研究会」会員(飯伊の市町村や各種団体等)のホームページの制作、更新等の開発に従事し、更には各種データ処理、文書・調書等作成業務などを担当されている。

田中さんホームページ: www.idanet.or.jp/ica/TOSIKI/WELCOME.HTM

協賛会新年度役員改選される

去る六月二十六日(木)、学校において飯田コンピュータ専門学校協賛会に平成九年度総会が開催され、席上、役員改選が行われ、平成九年度・十年度の役員(理事・監事)が決定した。

同時に幹事職も会長から委嘱がされ、事業計画、予算も承認され、名実共に新年度のスタートを切った。

なお、当日は記念講演として信州大学工学部の中村八東先生の「インターネットの可能性」と題するお話があり、在学生も特別講座として聴講した。

平成九・十年役員
会長 中島 威人
(飯田商工会議所会頭)
副会長 竹村 弘実

(下伊那商工会連合会会長)

近藤 和夫

(下伊那郡町村会会長)

古井 武志

(飯田市助役)

熊谷 博

(下伊那農協協議会会長)

種村 良平

(コアグループ)

原 勉

(株飯田ケーブルテレビ)

片桐 裕

(天恵製菓(株))

久保田秀文

(龍共印刷(株))

萩本 典文

(多摩川精機(株))

宮下 忠久

(夏目光学(株))

木下 隆由

(木下建設(株))

永井 嗣展

(株ナガイ)

監事 松澤 徹

(株マツザワ)

伊坪 眞

(伊坪税理士事務所)

幹事 増田 郁夫

(飯田市企画部長)

浦野 勉

(飯田商工会議所専務)

田辺 陸海

(下伊那町村会事務局長)

酒井 公男

(下伊那農協協議会事務局長)

渡辺 浄史

(下伊那商工会連合会事務局長)

スケジュール

前期定期試験

9月29日～10月3日

ワープ検定

(1・2・4級)

10月4～5日

始業式

10月6日

秘書検定

11月7日

簿記検定

11月16日

CG・画像処理・マルチメディア検定

11月30日

冬休み

12月24日

編集後期

今回は、前回は反省し早めに済ませておこうと思っていたのですが、いろいろな事が重なってしまい結局こんなに遅くなってしまった。編集をしながら、自分は何でこんなに苦労しなればならないのか?など思っていました。しかしどんなに理不尽でも、自分は広報出版委員なので投げ出すわけにもいかずできる事から終わらせて今にいたったわけです。次回は、こんな事にならないように前向きに取り組んでいこうと思います。改めて責任の重さを感じました。